4月7日(木)、令和4年度入学式が挙行されました。今年度は、園 芸学科野菜コース19名、花きコース4名、果樹コース9名、畜産学科 7名で、昨年より9名増加の39名が入学しました。

式では、今年4月に着任した山形校長の式辞の後、平田副知事に よる告辞、長岡学生会長による歓迎のことば、新入生代表の鈴木さ んによる入学の誓いがあり、最後に保護者代表の喜々津さんからご 挨拶をいただきました。次代の本県農業の担い手たちにエールです。



式場入口を飾る桜のアレンジ



知事告辞(平田副知事)



入学の誓い(新入生鈴木さん)



式辞(山形校長)



歓迎のことば(長岡学生会長)



保護者代表挨拶(喜々津さん)



令和 4年度 新入生一同

ホームページにも最新情報満載!!

URL: http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/noudai/index.html



読み取ると農大HPへリ ンクします!



■禁約回「需要学業」読み取ると農大ツイッ ターヘリンクします!

学生自治会総会が開催され、新年度の事業計画および予算案が承 認されました。今年こそはコロナが収束に向かい、各行事を復活で きることを皆期待しています。その後次年度学生募集ポスターを決 める投票が行われ、下部掲載が採用されました。



新しい役員の承認



長岡学生会長の挨拶



進行する松永副会長



モデルは長岡会長と松永副会長

5月9日

JA長崎せいひ、JAながさき県央、JA島原雲仙、JAながさき西海 佐世保食肉センター、アグリ未来長崎、大西海ファームさんに来 校いただき、1年生全員と2年生のJA等就職希望者を対象に、就 職説明会を開催しました。



JA長崎せいひ



JAながさき県央



JA島原雲仙



佐世保食肉センター



JAながさき西海



アグリ未来長崎、大西海ファーム

令和4年6月15日 発行日

発行者 長崎県立農業大学校

所在地 〒854-0062 諫早市小船越町3171

TEL 0957-26-1016 FAX 0957-25-3871

E-mail: noudai@pref.nagasaki.lg.jp

4月26~27日

諫早青少年自然の家で新入生宿泊研修を実施しました。1日目 は諫早消防署と西諫早分署のご指導のもと、集団訓練と救急救命 講習会を、夜は各種集団ゲームで仲間意識を培いました。2日目 はあいにくの濃霧で野外から屋内オリエンテーリングに変更して チーム活動を行いました。ご協力いただきました自然の家、消防 署の方々に深く感謝申し上げます。



集団訓練



Vol. 1

楽しい食事のひと時



救急救命講習(心臓マッサージ)



集団ゲーム(アシッドリバー)



屋内オリエンテーリング



球技レクレーション



最後に記念撮影「みんな仲間になりました!!」

野農学科

井上 拓海(諫早農業高卒) 雲仙市南串山町

「良食味系ばれいしょの品種比較試験」



良食味系バレイショである「ながさき黄金」、「デジマ」、「アイノアカ」、 「アイユタカ」の4品種について春作黒マルチ栽培で全体重、規格別収 量、最大イモ重などを比較検討しています。



小濵 智也(北松農業高卒) 平戸市大野町

「ミニトマトの1本仕立てと2本仕立て の違いが、収量および糖度等に及ぼ す影響।

ミニトマトの2本仕立ては1本仕立てと比べて種苗費の低減や定植 の省力化等のメリットがあります。栽培状況の検討や経営試算を行い、 就農後のミニトマト栽培に生かせるよう頑張ります。

> 桑田 裕大(諫早農業高卒) 諫早市多良見町





タマネギは年間を通じて需要が高いとても重要な指定野菜です。さら に、付加価値をつけるため、鶏ふんを活用した無化学肥料栽培にチャ レンジしています。このプロジェクトを通してより良い野菜技術者を目 指しています。



長岡 大紋(諫早農業高卒) 壱岐市石田町

「イチゴ3品種に対する『ムシラップ』 の効果確認」

イチゴは、栽培が長期に渡るため、病害虫の防除は欠かせません。 そこで、使用回数に制限がなく、ミツバチへの影響が少ない薬剤『ムシ ラップ』を用い、その効果検証を行っています。

> 東 龍兵(大村城南高卒) 大村市竹松本町

「シルバーマルチを使用したキュウ リのコナジラミ防除対策」



キュウリ栽培ではコナジラミの防除が課題となっており、化学農薬だ けでは防除が困難となっています。そこでシルバーマルチによる光の 乱反射を利用した忌避効果について試験をしています。

森田 有稀(島原工業高卒) 島原市広高野町

「セル内施肥によるハクサイの窒素 減肥栽培」



セル内施肥は環境への窒素負荷低減と省力化が期待できる技術です。 セルトレイの中に肥効調節型肥料を施用して育苗した苗を使って、本圃 では窒素無施用で試験しています。就農後に活用できる成果が出るよう に頑張ります。



山崎 雅史(小浜高卒) 雲仙市広高野町

「カブの播種方法の違いが出芽率お よび収量等に及ぼす影響」

カブの種子は非常に小さく、出芽を揃えることが難しいため、収穫のばら つきが問題です。播種位置に土入れをする等、播種方法を工夫すること で出芽の不揃いの改善ができないか検討しています。





諫早市多良見町



坂口 葵(諫早農業高卒)

「輪ぎくの冬季栽培における二酸化炭 素施用の効果」

輪ぎくの冬季栽培において、二酸化 炭素施用を行うことで、開花時期や切 り花品質に及ぼす効果を検証します。



松永 真奈(大村城南高卒) 大村市松原

「トルコギキョウの冬季栽培における 二酸化炭素施用の効果」

トルコギキョウの冬季栽培において、二 酸化炭素施用を行うことで、開花時期や 切り花品質に及ぼす効果を検証します。



陣内 雄山(海星高卒) 長崎市淵町

「『不知火』長期貯蔵技術及び植 調剤・カルシウム資材による果皮 障害軽減技術の検討」



中晩柑「不知火」の単価が高い夏季出荷技術と外観が向上するよう高 品質果実生産技術について取組んでいます。将来の進路に役立つよう 頑張っています。

諫早市真崎町 「モモの早期着果調節が果実及び作業 時間に及ぼす影響」

平山 澪帆(諫早農業高卒)



モモの摘蕾方法を変えることで、大玉で糖度が高い果実、及び作業時間 が軽減できるプロジェクトに取組んでいます。 モモ経営の夢に向かって頑張っています。











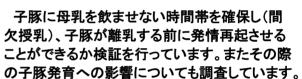
嵩下 空(諫早農業高卒) 諫早市小長井町

「産肉性が高い和牛短期肥育をめざして」

和牛肥育では濃厚飼料を定量摂取することが重要ですが、暑熱下 では採食量が低下するため、暑熱対策等を行うとともにバイパスメチ オニンを給与して良好な枝肉成績を目指します。

> 立石 憂那 (西彼農業高卒) 西彼杵郡時津町

「間欠授乳による母乳と子豚への効果について」







本村 瑞希 (島原農業高卒) 南島原市有家町

「ROAD TO ZENKYOU(完結編)」

本年度開催される第12回鹿児島全共に向けて先輩方と紡いできた 活動を振り返るとともに、全共にチャレンジする私たちの取組を評価、 反省し、今後の改善点を提起します。

> 横尾 隼己(諫早商業高卒) 諫早市森山町



「子牛育成期の飼料給与面での工夫が 出荷成績に及ぼす効果」

農大では市場性の高い子牛生産を目標に子牛育成に取り組んでいま す。本プロジェクトでは、育成中期(5か月齢)までの飼料給与マニュア ルを見直し、子牛の増体改善を図ります。

~農大からのお知らせ~

農大では、7月16日(土)~17日(日)に農大力レッジを開 催します。たくさんの高校生に参加してもらえたらと思います。 詳細は、農大教務課まで! 🖙 🗗 0957 – 26 – 1016

